

## Who's who



## ジャンゴは僕の音楽のルーツ

## キヨシ 小林さん

Kiyoshi KOBAYASHI  
Guitariste du Jazz Manouche

生年月日：1955年8月25日  
肩書き：ジャズ・マナーシュ・ギタリスト  
経歴：ジャンゴ・ラインハルトを自己の音楽的ルーツとして70年代より活動を開始。80年代からは「東京ホット倶楽部バンド」「ビストロテンポ」等に参加。第1級のウクレレ/バンジョー奏者としても知られている。最近では平原綾香の「そら」の作曲を担当。  
嗜好：釣ります。海釣りも、溪流釣りも、どちらもやります。後はおいしいお酒を飲むことですな。

## ギターを最初に手にしたのはいつ頃ですか？

一番僕の中で古い記憶は小学生の頃ですね。その時の写真が今も残っているのですが、なぜか僕がギターを持っているんです。しかも、よく見ると「A-」を押さえて、自分のことながら「マイナーキーを押さえるなんてずいぶんくらい少年だな」と思っていました。もし「メジャー」を押さえていたら人生変わっていたかもしれませんね。

## 学生の頃は、どんな曲を聴いてましたのですか？

学生の頃は主にカントリー、ブルース、フォーク等を聴いていました。他にもエレキギター全盛期だったので、ビートルズやベンチャーズ、モンキーズなども聴きましたね。ただ、僕はアコースティックの暖かみのある音が好きだったので仲間とバンドを組んでいたときはフォークが中心でした。あの当時の日本人のフォークシンガーでは高田渡など有名でしたね。実は僕がジャンゴの魅力にとりつかれたのは、今から30年くらい前に高田さんと

一緒にバリに来たときなのです。

## キヨシさんは、アコースティックのどの辺にこだわりを持っているのですか？

最近ニュースを見ていると、殺人事件など非常に暗い話題ばかりです。だからこそ、みんな「癒し」を求めていると思うんですよ。日本では部屋のインテリアに暖かみのある木製の家具などを取り入れたり、どこか、優しさが求められているんですね。そういった意味で、アコースティックの音色は非常に暖かみがあり飽きがこないんです。エレキ楽器では決して再現できない、アコースティックならではの音を求めるのが僕のこだわりかな？

## キヨシさんはウクレレ奏者でもあられるそうですが、ウクレレとの出会いはいつ頃ですか？

ウクレレは、子供の頃友達の家でさわらしてもらったのが最初ですね。指づかひもギターに似ているので、すぐに好きになりました。ウクレレというとハワイアンっ

## DJANGO SWING

自身の集大成ともいえる最高のジブシー（＝マナーシュ）・スウィングを聴かせる1枚。欧州でも名を馳せるKIYOSHIがジャンゴのマナーを基礎として自己のアクセントを加えて奏でる、心の温まるスウィング&リラックス・サウンド。

オフィシャルサイト：<http://www1.ttcn.ne.jp/~k-koba/>



©OMAGATOKI / Kiyoshi Kobayashi  
キヨシ小林 &  
ジブシー・スウィング・ギャング  
DJANGO SWING  
OMCA-1025 定価 2,625円

## 読者プレゼント

キヨシ小林さんのサイン入りCD「DJANGO SWING」を抽選で1名の方へプレゼント。下記の内容をご記入の上、応募してください。

①氏名 ②住所 ③電話  
④メール ⑤職業 ⑥感想  
宛先：editor@newsdigest.fr  
締め切り：3月15日必着

てイメージがありますけれど。この楽器は意外に奥が深いんですよ。ウクレレを教えているときにいつも思うのですが、どんな楽器も譜面通りに弾くことは、練習すればそれなりに出来るようになるんですよ。しかし、譜面では表せない何かを言葉で伝えるのは難しいですよ。今でこそ、ウクレレの教本などたくさんありますが、僕が弾き始めたときは、まだ手探り状態でしたからね。そういった、苦労したときに見つけた何かを次の若い世代に残せたらと思っています。

## キヨシさんが今一番楽しんでいることと、今後の予定を教えてくださいませんか？

今一番楽しいのは、なんと言っても息子と一緒に音楽をやっていることですね。時代が変わってきたのでしようけど最近、あまり親子で何かを行うことが減ったようです。ですから、僕は幸せもんだと思います。今後やってみたいのは、クラシック音楽を研究して僕のレパートリーに加えてみたいということですね。